

第二次三沢市総合振興計画

2020(R2)年度の進捗状況

子どもからお年寄りまでの生活を守る

三沢市民それぞれの年代に応じて、生活の不安を軽減し、健やかで心豊かに暮らせるよう支援します。



維持

2018

2022

現状の福祉サービスを守りながら、

2020年度
特筆すべき事項等

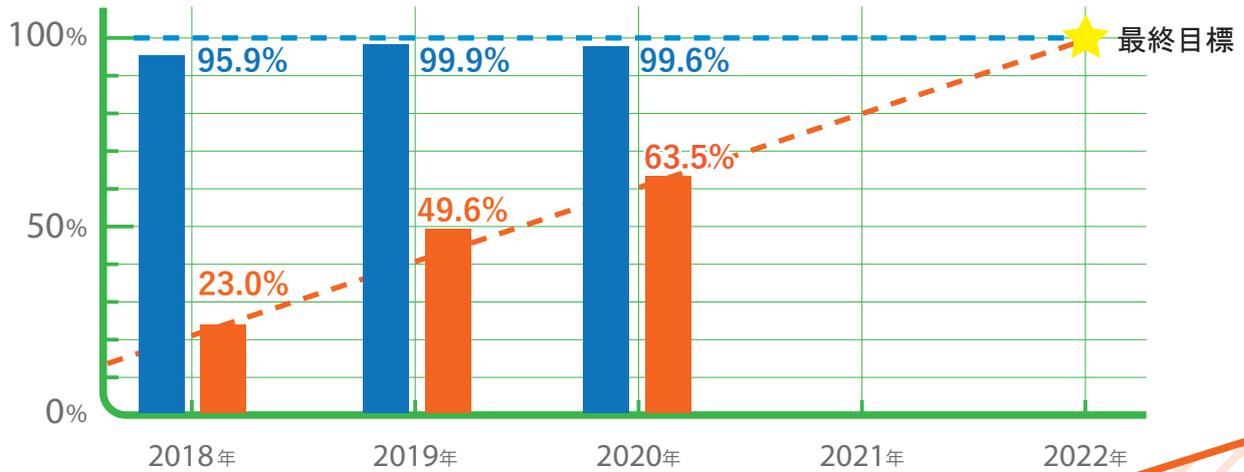
施策番号	内容	2016年度	2020年度	2022年度
01	介護給付 介護サービスを着実に運営し、給付額の適正な運用を継続します。	87.1%	95.2%	93.0%
02	障がい者支援 障がい者が安定した生活を送れるよう支援を継続します。	100%	100%	100%
03	生活困窮者相談 毎日の暮らしに困っている人に対し、それぞれの事情に沿った対応を継続します。	100%	100%	100%
04	健康相談 市民が健康状態を知り、相談できる機会を提供します。	89回/年	106回/年	89回/年
05	国民健康保険 保険給付や医療費の適正化に努め、安定的な制度運営を行います。	97.1%	県平均を上回った	県平均以下

入院件数は前年並みであるのに対し、入院日数が長期化しているため、医療費が増加した。

政策の達成率

★ グラフの見方

- ①点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
- ②青ゲージは維持分野、赤ゲージは、挑戦分野の施策の達成率の平均です。
- ③施策ごとの達成率は実施計画（別冊）をご覧ください。



挑戦

子育てに参加する人を増やします。

施策番号

06

介護予防

「いきいきデイセンター」の利用や老人クラブなどへの加入を促進します。

介護予防事業の参加者数(延べ数)

39,324人/年 (2016年度) → 43,507人/年 (2020年度) → 45,000人/年 (2022年度)

07

子育て支援

子育て支援制度を活用した事業を促進します。

子育て支援センター利用者数(延べ数)

13,417人/年 (2016年度) → 23,257人/年 (2020年度) → 25,700人/年 (2022年度)

08

疾病の早期発見

さまざまな疾病の検診受診率を向上します。

各種がん検診受診率(胃・大腸・肺・子宮・乳)

18.2~30.8% (2016年度) → 14.2~28.1% (2020年度) → 35.0~45.0% (2022年度)

(注) 各種検診ごとに、基準値及び目標値が異なる

2020年度
特筆すべき事項等

コロナ禍により、各種検診の受診を控えた方が多かった。

09

生活保護

生活保護受給者の生活状況を把握し、制度に沿った生活を営めるよう支援していきます。

生活保護世帯への訪問率

60.9% (2016年度) → 100% (2020年度) → 100% (2022年度)

互いに支えあうまちをつくる

市民の皆さんが安心して暮らせるように、犯罪や事故などの予防など、さまざまな問題の解決に取り組めます。併せて、地域の支え合いや住民同士のつながりを強める地域の活動を積極的に支援しま



維持

2018

2022

日々の穏やかな暮らしをサポートしながら、

2020年度
特筆すべき事項等

施策
番号

基地対策

10

航空機騒音や基地関係者による事件・事故などに対応できる体制を維持し続けます。

特殊な訓練・重大な事件事故の情報提供率

100%	→	100%	100%
2016年度		2020年度	2022年度

市民相談

11

市民がかかえる暮らしのトラブル解消へのサポートを継続します。

市民相談機会の提供回数

48件/年	→	48件/年	48件/年
2016年度		2020年度	2022年度

消費者相談

12

詐欺などの被害を未然に防止するため、情報提供と相談窓口を提供し続けます。

消費者保護の情報提供回数

20件/年	↘	18件/年	20件/年
2016年度		2020年度	2022年度

コロナ禍により、高齢者向けの情報提供行事を2回中止した。

交通安全・防犯対策

13

警察、母の会等の関係団体と連携し、安全・防犯意識をさらに高めます。

交通安全・防犯対策の啓発活動件数

54件/年	↘	44件/年	54件/年
2016年度		2020年度	2022年度

コロナ禍により、啓発活動を中止した。

バス交通

14

バスや電車の利用者に合わせた路線を維持します。

コミュニティバス(みーばす)輸送人員(延べ数)

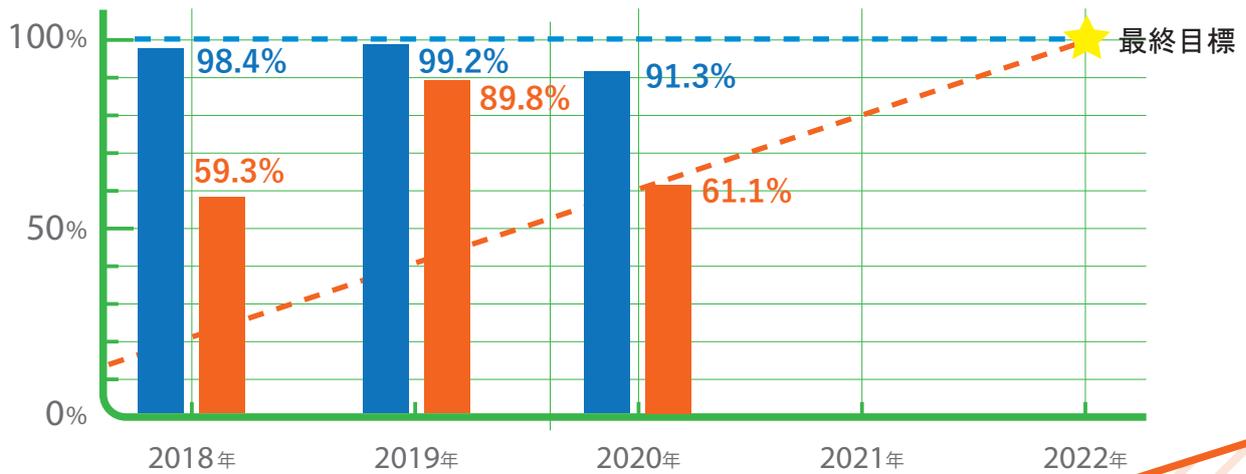
122,399人/年	↘	104,310人/年	122,399人/年
2013~2016年度の の平均値		2020年度	2022年度

コロナ禍により、外出を控えた方が多かった。

政策の達成率

★ グラフの見方

- ① 点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
- ② 青ゲージは維持分野、赤ゲージは、挑戦分野の施策の達成率の平均です。
- ③ 施策ごとの達成率は実施計画（別冊）をご覧ください。



挑戦

2018

2022

地域で活動する積極的な市民を増やします。

2020年度
特筆すべき事項等

施策
番号

15

地域活動

市民活動団体を支援することにより、
地域全体の活力向上を図ります。

市民活動団体数

122 団体 (2016年度) → 140 団体 (2020年度) → 125 団体 (2022年度)

16

町内会

市民が地域のあらゆる分野で活躍できるよう、
町内会等と連携し加入を推進します。

町内会加入の増加件数

0 件/年 (2016年度) → 0 件/年 (2020年度) → 10 件/年 (2022年度)

一部の町内会で準会員の取り扱いに変更があったため、加入世帯数が減少した。

17

人づくり

地域課題の解決を促進するために、
地域と人をつなげる人材を育成します。

まちづくり市民ファシリテーターの数(延べ数)

- (2016年度) → 15 人 (2020年度) → 18 人 (2022年度)

災害や事故から市民を守る

三沢市民の安全・安心のため、火災をはじめとするさまざまな災害に対応する力を高め、できる限り被害を小さくするとともに、予防に努めます。



維持

2018

2022

災害への備えを整えながら、

施策
番号

消防訓練

18

多くの方々が集まる施設を中心に消防訓練を実施し、防火意識を啓発し続けます。

訓練実施数



防災・減災対応

19

災害時の被害を最小限にするため、住民と連携した総合防災訓練を継続します。

三沢市全体の防災訓練実施回数



予防活動

20

建物を検査し、違反を速やかに是正することで、火災を予防します。

防火対象物・危険物施設の検査実施数



2020年度
特筆すべき事項等

コロナ禍により、査察業務を縮小した。

政策の達成率

★ グラフの見方

- ①点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
- ②青ゲージは維持分野、赤ゲージは、挑戦分野の施策の達成率の平均です。
- ③施策ごとの達成率は実施計画（別冊）をご覧ください。



挑戦

互いに助け合う人を増やします。

2020年度
特筆すべき事項等

施策
番号

21

地域防災

災害への対応力を高めるため、自主防災組織の結成を進めます。

自主防災組織の組織数

44 団体 (2016年度) → 50 団体 (2020年度) → 49 団体 (2022年度)

22

消防設備

消火栓、防火水槽等の消防水利や消防車、救急車等の設備を整備・更新します。

消防水利の充足率

71.4% (2016年度) → 76.0% (2020年度) → 76.0% (2022年度)

23

救命講習

市民一人ひとりが救命に関する知識を深めることで、救命率^(注)の向上を目指します。
(注) 救命率とは、心肺停止状態から蘇生した人の割合

救命講習会受講者数

1,502人/年 (2013~2016年度の平均値) → 956人/年 (2020年度) → 2,000人/年 (2022年度)

コロナ禍により、講習会及び普及活動を中止した。

24

消防団

地域防災体制の中心である消防団員の加入や定着を進めます。

消防団員数

301人 (2016年度) → 292人 (2020年度) → 320人 (2022年度)

コロナ禍により、消防救急フェア及び成人式が中止となり、予定していた団員募集の広報活動ができなかった。また、新入団員を上回る定年及び自己都合退団(高齢化等)があった。

充実した医療で市民を守る

三沢市民や近隣住民が安心して医療を受けられる体制を整え、高度で先進的な医療や利用者の心に寄り添った看護などの良質な医療サービスを提供します。



維持

2018

2022

病院経営の健全化を図り、

施策
番号

25

病院利用

さまざまな医療機関と連携しつつ、地域の中核病院としての役割を果たします。

入院・外来患者数(延べ数)

(入院)	(入院)	(入院)
64,428人/年	54,544人/年	70,080人/年
2016年度	2020年度	2022年度
(外来)	(外来)	(外来)
95,830人/年	95,407人/年	99,630人/年
2016年度	2020年度	2022年度

2020年度 特筆すべき事項等

一つの一般病棟をコロナ患者専用病棟とし、一般入院患者受入れの制限を実施した。

コロナ禍により、不要不急の外来受診を制限した。

26

病院経営

多くの方が安心して医療を受けられるように、健全な病院経営を維持し続けます。

経常収支比率

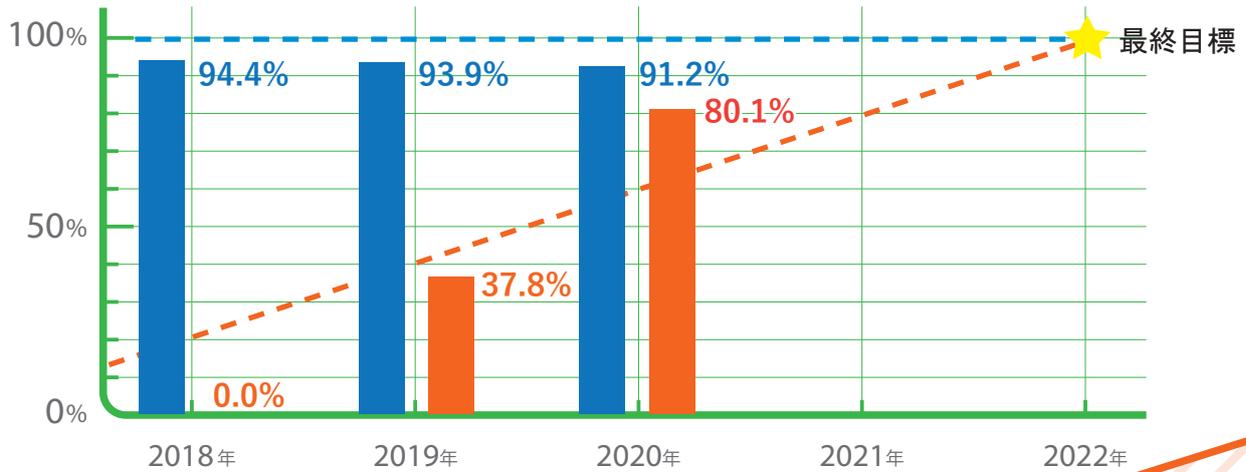
92.6%	99.1%	97.6%
2016年度	2020年度	2022年度

(注) 経常収支比率(%) = $\frac{(\text{医業収益} + \text{医業外収益})}{(\text{医業費用} + \text{医業外費用})} \times 100$

政策の達成率

★ グラフの見方

- ①点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
- ②青ゲージは維持分野、赤ゲージは、挑戦分野の施策の達成率の平均です。
- ③施策ごとの達成率は実施計画（別冊）をご覧ください。



挑戦

2018

2022

良質な医療サービスを提供します。

施策
番号

27

人材確保

医師や看護師などの人材を確保し、
更なる医療体制の向上に努めます。

市立三沢病院の職員数

261人 (2016年度) → 289人 (2020年度) → 276人 (2022年度)

2020年度
特筆すべき事項等

28

高度医療

PET-CT検査^(注)の利用促進を図り、
がんの早期発見、早期治療につなげます。

(注) PET-CT検査とは、特殊な薬剤を注射し、その体内の分布を特殊なカメラで映像化する診断法。早期の小さながんの発見や部位の正確な特定などの診断が高い精度でできる。

PET-CT検査件数

1,037件/年 (2016年度) → 1,135件/年 (2020年度) → 1,200件/年 (2022年度)

きれいな水と自然を守る

生活になくてはならない大切な水の安全性を守るとともに、水資源の保全に努めます。



維持

2018

2022

水の安全と自然環境を守りながら、

施策
番号

管理体制

29

訓練や点検を実施し、災害などの場合に素早く対応できる体制を整えます。

民間企業との会議・訓練回数



2020年度
特筆すべき事項等

公害対策

30

公害の発生状況を監視し、その対策を継続します。

公害に関する苦情等への対応率



ごみの処理

31

ごみ処理の方法について情報発信し、不法投棄の防止を啓発し続けます。

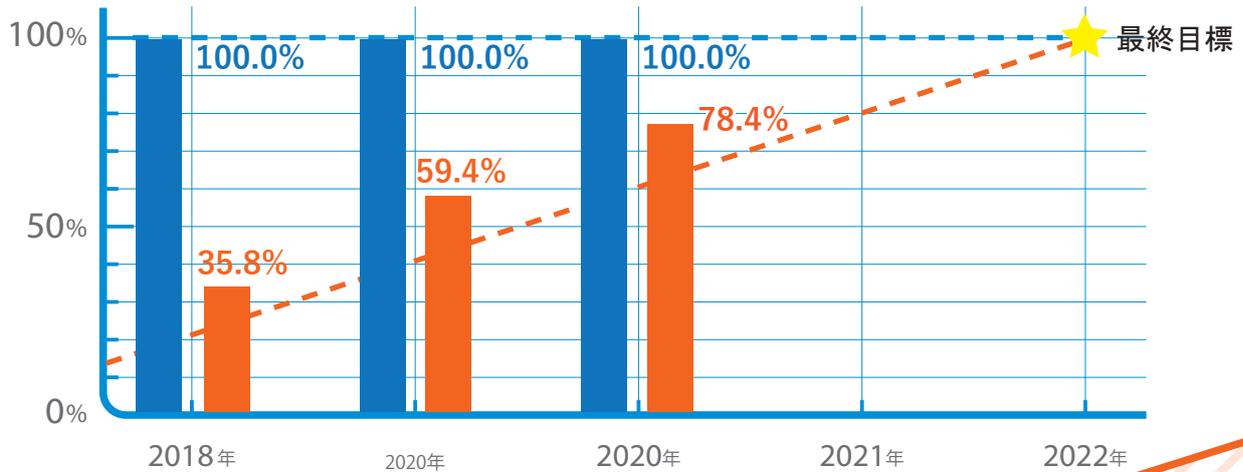
不法投棄の啓発活動件数



政策の達成率

★ グラフの見方

- ①点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
- ②青ゲージは維持分野、赤ゲージは、挑戦分野の施策の達成率の平均です。
- ③施策ごとの達成率は実施計画（別冊）をご覧ください。



挑戦

2018

2022

環境を思いやる人を増やします。

施策
番号

下水道

下水道に接続できる地域を広げます。

32

下水道普及率

76.2% → 81.6% → 83.1%
2016年度 2020年度 2022年度

水洗化

下水道に接続する戸数を増やします。

33

下水道をえる人のうち実際に使っている人の割合

84.8% → 87.8% → 87.6%
2016年度 2020年度 2022年度

水道施設

老朽化した施設や設備を見直し、安全な水を届けます。

34

水道管の耐震化率

38.7% → 42.8% → 45.9%
2016年度 2020年度 2022年度

2020年度 特筆すべき事項等

限られた予算の中で老朽管の更新工事を進めているが、更新するエリアが中心市街地になってきており、水道本管への不明管の接続が多数発見され、この切替工事の費用が増加している。また、舗装復旧費も嵩んできており、当初の予定通り工事が進んでいない。

道路・建物・公園を使いやすくする

三沢市民が安全で便利な暮らしを送れるように、道路や建物、憩いの場としての公園等を作ったり直したりします。



維持

2018

2022

生活道路を維持しつつ、

施策
番号

35

生活道路

住宅街などの身近な道路を安全に通行できる状態を保つため、維持管理を継続します。

道路に関する相談・苦情の対応率

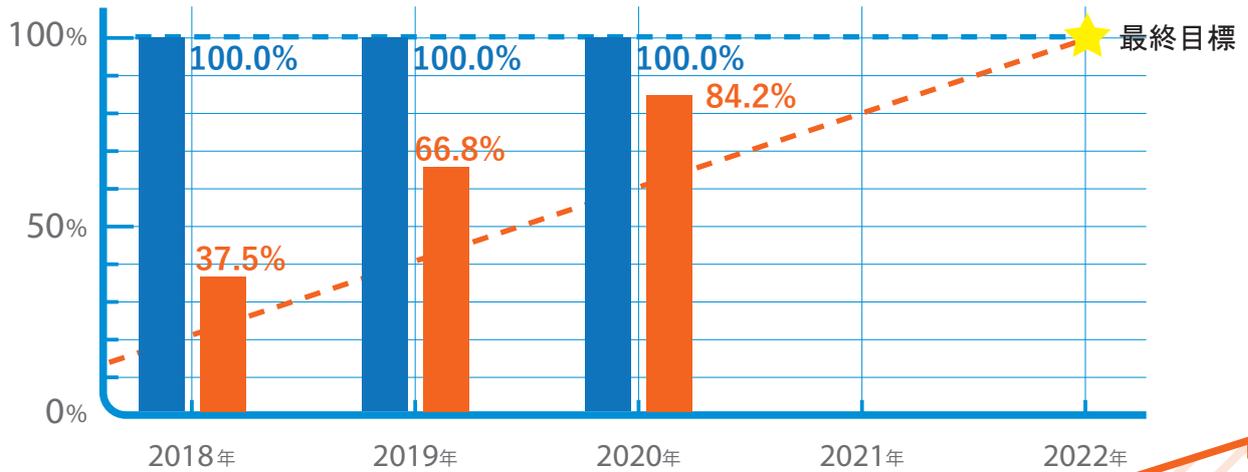


2020年度
特筆すべき事項等

政策の達成率

★ グラフの見方

- ①点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
- ②青ゲージは維持分野、赤ゲージは、挑戦分野の施策の達成率の平均です。
- ③施策ごとの達成率は実施計画（別冊）をご覧ください。



挑戦

2018

道行く人や公園を利用する人を増やします。

2020年度
特筆すべき事項等

施策
番号

36

道路整備

地域の主要な道路の安全性や利便性を確保するため、整備を進めます。

市道の舗装率

81.0% (2016年度) → 82.4% (2020年度) → 81.9% (2022年度)

37

歩道整備

歩行者の利便性や安全性を向上させるため、歩道の整備を進めます。

整備した歩道延長

83.3km (2016年度) → 87.8km (2020年度) → 89.3km (2022年度)

38

公園整備

憩いの場である公園が、安心かつ安全であるように整備を進めます。

安全に使える公園施設の割合

80.7% (2016年度) → 84.0% (2020年度) → 85.5% (2022年度)

39

公営住宅

対象となる方が安全な住まいを確保できるように、予防保全型の管理^(注)を行い、公営住宅を維持します。

良好な公営住宅戸数率

85.5% (2016年度) → 93.5% (2020年度) → 94.1% (2022年度)

(注) 予防保全型の管理とは、損傷や劣化が進行する前に適切な対策を行う管理のこと

まちの家計を守る

三沢市民が納めたお金を効果的にやり繰りします。

収入を保ち、財布の中を減らすことなく計画的な支出を行い、三沢市の家計を維持します。



維持

2018

2022

赤字にならないように備えながら、

施策
番号

財政運営

40

健全な財政運営を維持し、**公債費**(注)の抑制に努めます。

(注) 公債費とは、自治体が借り入れた地方債の元利償還費と一時借入金の利息の合計

実質公債費比率(注)

11.1% → **10.0%** 18%未満
2016年度 2020年度 2022年度

(注) 実質公債費比率とは、自治体の収入に対する負債返済の割合

2020年度
特筆すべき事項等

納税手段

41

市税の口座振替など、**さまざまな納税手段**を維持します。

口座振替加入率

24.9% → **28.2%** 24.9%
2016年度 2020年度 2022年度

公有財産

42

未利用の公有財産の活用を進め、**財源を確保**します。

普通財産の使用率

24.1% → **29.6%** 24.1%
2016年度 2020年度 2022年度

政策の達成率

★ グラフの見方

- ①点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
- ②青ゲージは維持分野、赤ゲージは、挑戦分野の施策の達成率の平均です。
- ③施策ごとの達成率は実施計画（別冊）をご覧ください。



挑戦

2018

公平に税を集めます。

施策
番号

43

市税収納

市税の収納率を青森県平均以上にします。

収納率

94.3%

2016年度

96.6%

2020年度

95.1%

2022年度

2020年度
特筆すべき事項等

みんなが学べるまちをつくる

子どもからお年寄りまで三沢市民がいつでも学ぶことができる環境を整え、誰もが多くの学びに触れられるようにサポートします。



維持

2018

2022

教育・文化・スポーツ基盤を守りながら、

2020年度
特筆すべき事項等

施策
番号

教育施設

44

施設の老朽化対策・安全対策・衛生管理を
続けます。

市内教育施設の改修進捗率



教育相談

45

不登校児童・生徒向けの相談体制を維持し
続けます。

教育相談への対応率



文化

46

三沢市公会堂など文化活動の
拠点を維持し続けます。

文化施設の利用者数(延べ数)



コロナ禍により、臨時休館や入場制限、開館時間の短縮を行った。また、文化施設を会場とするイベントが中止となった。

スポーツ

47

運動施設を拠点とした
スポーツ活動を支援し続けます。

運動施設の利用者数(延べ数)

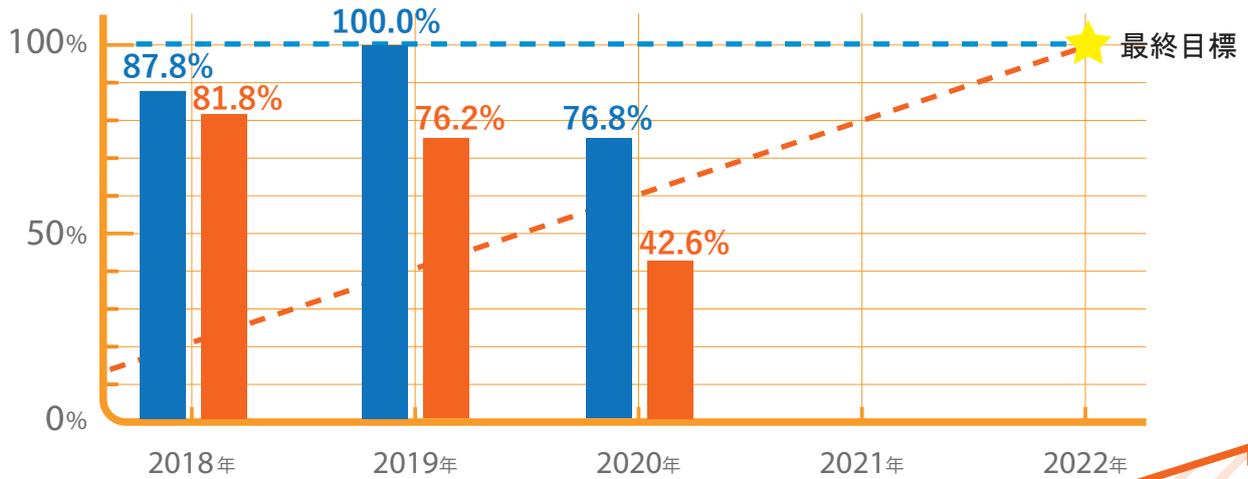


コロナ禍により、運動施設の休館や利用制限(人数や時間制限等)を実施した。また、利用者のスポーツ活動自粛や、各種大会等も中止が多かった。

政策の達成率

★ グラフの見方

- ①点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
- ②青ゲージは維持分野、赤ゲージは、挑戦分野の施策の達成率の平均です。
- ③施策ごとの達成率は実施計画（別冊）をご覧ください。



挑戦

グローバルに活躍できる人材を育てます。

施策番号

48

グローバル人材

三沢市の特徴を活かしたグローバルな学びの機会を提供します。

グローバル人材育成事業参加者数(延べ数)

49人/年 (2013~2016年度の平均値) → 42人/年 (2020年度) → 66人/年 (2022年度)

2020年度 特筆すべき事項等

コロナ禍により、姉妹都市への使節団及び英語研修派遣を中止した。

49

地域ぐるみの教育

地域の人材のネットワーク化と学びの場づくりを支援します。

地域と学校との協働活動参加者数(延べ数)

- (2016年度) → 8,853人/年 (2020年度) → 12,600人/年 (2022年度)

50

英語教育

市内小中学校の英語教育を推進します。

中学校3年生での英語検定(3級以上)取得率

28.1% (2016年度) → 40.6% (2020年度) → 39.0% (2022年度)

51

教育力

小中学校教員の指導力向上のための研修などに参加します。

研修参加達成率

72.0% (2016年度) → 56.0% (2020年度) → 74.0% (2022年度)

コロナ禍により、英語教育に関する研修会及び幼保小連携研修会は中止、健康教育研究発表大会は規模を縮小した。

まちの景気を良くする

市内で生み出される商品やサービスの付加価値の向上を支援します。

さらに、市外からの収入を増やすとともに、地域内への投資を増やすなどの取り組みを行います。

また、三沢で働く方々が、働きやすい環境づくりに取り組みます。



維持

2018

2022

第一次産業や地元企業を守りながら、

施策
番号

地場産品

52 三沢市の地場産品の市外への販売を支援し、知名度向上や顧客獲得を推進します。

観光

53 観光コンテンツの開発とブラッシュアップを図り、宿泊を伴う体験型などの観光を推進します。

商業

54 三沢市の魅力が発揮される商店(街)の振興に取り組みます。

労働環境

55 労働環境の改善によって雇用を維持・確保し続けます。

2020年度 特筆すべき事項等

展示会等のイベント出店・支援件数



コロナ禍により、展示会等の中止や、県外イベントへの出店を見送った。

市内観光施設利用者数(延べ数)



コロナ禍により、観光施設の休館や外出自粛のため利用者が減少した。

中心市街地の歩行者数



コロナ禍により、外出自粛のため歩行者が減少した。

個人・企業向けセミナー参加者数

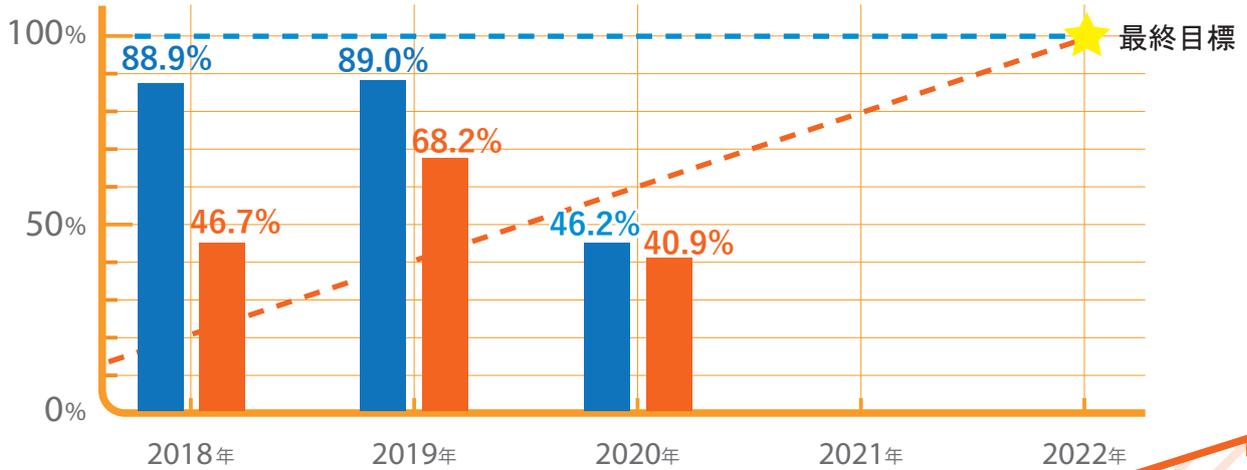


コロナ禍により、当初予定していた企業訪問/バスツアー等を中止した。代替案として、企業が学校を訪問する形で企業説明会を新たに実施したが、規模を縮小した。

政策の達成率

★ グラフの見方

- ①点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
- ②青ゲージは維持分野、赤ゲージは、挑戦分野の施策の達成率の平均です。
- ③施策ごとの達成率は実施計画（別冊）をご覧ください。



挑戦

2018

三沢の良さを理解して伝えられる人を増やします。

2020年度
特筆すべき事項等

施策
番号

農業

56

農地を使いやすいようにまとめることで、効率的な農業経営を支援し続けます。

担い手への農地集積率

49.8% (2016年度) → 60.6% (2020年度) → 65.0% (2022年度)

漁業

57

三沢市魚市場の高度衛生化を図り、三沢産水産物の品質と魚価の向上を引き続き目指します。

主力魚種の魚価

491円 (2016年度) → 595円 (2020年度) → 516円 (2022年度)

※主力魚種:スルメイカ、ほっき貝、ヒラメ

ブランド化

58

三沢市の農水畜産物のブランド化を推進し、付加価値を高めます。

ブランド化した農水畜産物数

3件 (2016年度) → 3件 (2020年度) → 5件 (2022年度)

コロナ禍により、市内外でのイベントが中止となり、PRや商談、また、スーパーや魚屋での試食販売やトップセールス等を実施することができなかった。

起業

59

資金調達や商品開発などを支援し、起業者を育成します。

新規起業件数(延べ数)

5件/年 (2016年度) → 7件/年 (2020年度) → 11件/年 (2022年度)

コロナ禍により、経済全体が影響を受けたため、新規起業件数が減少した。

三沢空港

60

県外との往来者を増やします。

三沢空港発着便の平均搭乗率

69.7% (2016年度) → 39.5% (2020年度) → 72.8% (2022年度)

コロナ禍により、移動制限・外出自粛のため利用者が減少した。

質の高い行政サービスを提供する

三沢市役所で働く職員が個々の能力を伸ばすことで、仕事の質を落とさずに無駄を省くとともに、職員が安心・満足できる職場をつくります。



維持

2018

2022

時代に対応した新しい取り組みを続けながら、

2020年度
特筆すべき事項等

施策
番号

広域連携

61

これまでの枠にとらわれず、
近隣の市町村との連携を継続していきます。

定住自立圏で実施した事業数

31件	32件	32件
2016年度	2020年度	2022年度

情報管理

62

個人情報などの重要な情報が漏洩しないよう
情報を管理し続けます。

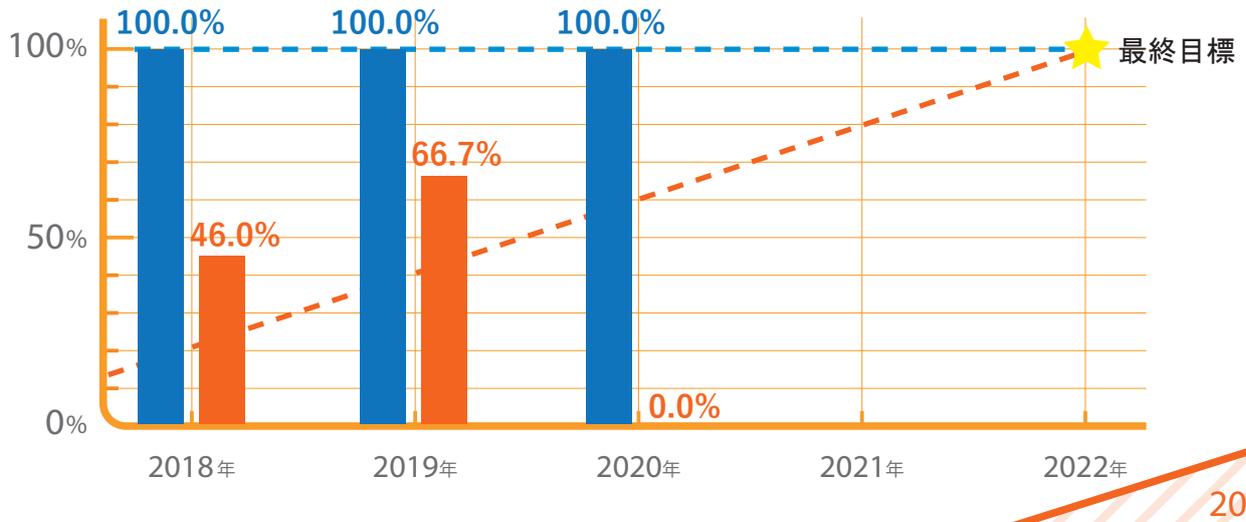
情報漏洩件数

なし	なし	なし
2016年度	2020年度	2022年度

政策の達成率

★ グラフの見方

- ①点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
- ②青ゲージは維持分野、赤ゲージは、挑戦分野の施策の達成率の平均です。
- ③施策ごとの達成率は実施計画（別冊）をご覧ください。



挑戦

職員の個々の能力を高めます。

施策
番号

能力開発

63

研修をとおして能力開発を行い、業務時間を短縮することで効率を高めます。

外部機関の研修受講者数(延べ数)

96人/年 (2016年度) → 95人/年 (2020年度) 110人/年 (2022年度)

2020年度 特筆すべき事項等

コロナ禍により、予定していた外部研修の約7割が中止となった。

窓口対応

64

さまざまなニーズを持つ来庁者のために、職員の窓口対応力を高めます。

接遇に係る研修受講者数(延べ数)

622人/年 (2016年度) → 105人/年 (2020年度) 730人/年 (2022年度)

コロナ禍により、予定していた接遇研修の約7割を中止とした。また、開催した研修会についても参加人数を絞った。

ワーク・ライフ・バランス

65

市職員が仕事と生活のバランスをとれるような環境を維持します。

時間外勤務時間

13,625時間/年 (2016年度) → 15,332時間/年 (2020年度) 12,000時間/年 (2022年度)

コロナ禍により、各種事業は中止となったものの、経済支援(各種給付金)等により業務量が増加した。

レーダーチャート

「三沢のいま」が一目でわかります!!

(結果は毎年度、市のホームページで公表します)

— 維持の達成度
— 挑戦の達成度

安心な暮らし

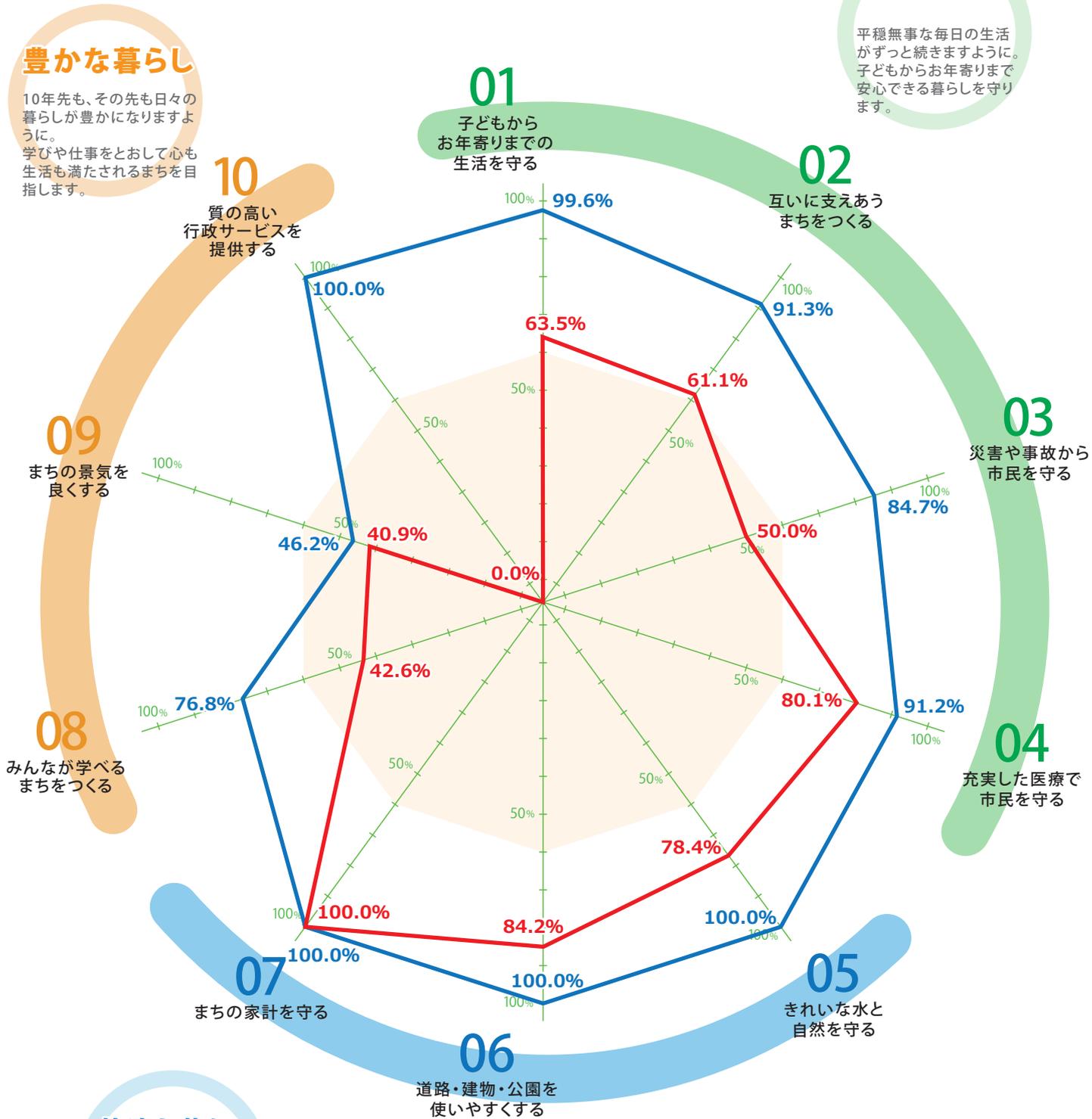
平穏無事な毎日の生活がずっと続きますように。子どもからお年寄りまで安心できる暮らしを守ります。

豊かな暮らし

10年先も、その先も日々の暮らしが豊かになりますように。学びや仕事をとおして心も生活も満たされるまちを目指します。

快適な暮らし

毎日が心地良く過ごせますように。成熟した社会にふさわしい、快適な暮らしができるまちを築きます。



評価基準

維持	挑 戦					評 価
	2018 H30	2019 R元	2020 R2	2021 R3	2022 R4	
100%	20%以上	40%以上	60%以上	80%以上	100%	政策を実現できた
70%以上	14%以上	28%以上	42%以上	56%以上	70%以上	” ほぼ実現できた
50%以上	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上	” おおむね実現できた
30%以上	6%以上	12%以上	18%以上	24%以上	30%以上	” あまり実現できなかった
30%未満	6%未満	12%未満	18%未満	24%未満	30%未満	” ほとんど実現できなかった

※維持分野は、毎年度 100%を目指します。

※挑戦分野は、5年間で 100%を最終目標に、毎年 20%の進捗を目指します。